

<海外研修演習 1 (ベトナム) 特別講演 >

【日時】 2016 年 12 月 14 日 (水) 10 : 30 - 12 : 00

【場所】 鶴舞キャンパス 基礎医学研究棟 1 階 会議室 2

【講師】 Dr.Trinh Tien Dat (Tu Du Hospital 副院長)

【タイトル】

“Management model in Tu Du Hospital”

“Health Care System in Vietnam“

“Joint Annual Health Review 2015”

海外実地研修 1 (ベトナム) の現地訪問先である Tu Du 病院より副院長の Dat 医師を招き講義を行った。初めにベトナムの 5 つに大別される保険システムについて説明があった。そのシステムの改革は 1990 年以降続けられていて現在では低所得者、子どもへの配慮が加わって来ている。保険料は所得に応じて設定されている。

医療格差では妊婦の死亡率を見てみると農村部と都市部では妊婦死亡率が倍近くの差がある。これは農村部での医療設備が不十分で不衛生な中での中絶、感染症などが妊婦死亡率の大きな原因となっている。

幼児の死亡要因では産後 7 日以内での理由に出産時合併症、先天性異常、窒息が多く、産後 7 日から 5 歳までの間では感染症、下痢が大きな原因となっている。

ベトナムでは NICU の設備が不十分であり、NICU の向上により幼児の死亡率の改善が見込まれる。

感染症では Dengue 熱が主たる疾患の一つで Tu Du 病院では 2015 年妊婦が Dengue 熱で入院した検査所見と経過の症例報告を行った。

数年間に及ぶ改革によっていくつかの問題は改善されつつあり、特に子どもの Dengue 熱による死亡率は大きく下がって来ている。

